

福居



会報
第6号

昭和59年9月28日発行
発行所
福井商工会議所青年部会
発行責任者
淡島洋

第二回

近畿東海ブロック運営研究会

関商工会議所(青年部会)にて開催される

去る九月一八日(火)に第二回の

近畿東海ブロック運営研究会が岐阜

県関市で開催された。

今回の参加者数は三三部会約三〇〇名であり、当所青年部会から

淡島会長以下一三名が出席した。

午前中は各分科会に分かれて討論

会が行なわれた。第一分科会のテ

ーマは「これからの商工会議所と

青年部の役割」。第二分科会は「地

域経済と商店街に果す青年部の役

割」。第三分科会は「商工会議所青

年部における自己の活動意識」で

あった。

昼食後、全体会議に移り、主催

者・来賓の挨拶、分科会報告等が

行なわれた。その中で日商の平井

小規模事業課長により、青年部(

会)の現況報告があり、設置状況

では、全国四七九会議所のうち青

年部を設置している会議所は二二

二、うち商青連に加盟している青

年部は一三〇。また東海ブロック

では四二会議所のうち二二の青年

部が設置、商青連加盟が六と極め

て少ない旨の説明があった。

引きつづき、建設省都市局長

原拓氏の「二一世紀の地方都市」

と題した記念講演が行なわれた。

午後四時半すぎに関市の産業振

興センターに移動し、関孫六、二七

代目による日本刀鍛錬の実演、今

瀬八段による試し切りを見学した。

午後五時半からは会場を関市平

安閣に移して懇親会が開かれた。

「拓こう若い力 未来への道」



第2回 東海近畿ブロック 商工会議所青年部会運営研究会

■日時 昭和59年9月18日(火)
(10:30-19:30)

■会場 岐阜県関市文化会館



- 主催 全国商工会議所青年部連合会
日本商工会議所
- 主管 関商工会議所青年部会
関商工会議所
- 後援 東海商工会議所連合会
近畿商工会議所連合会
岐阜県商工会議所連合会
岐阜県・関

商人あれこれ

江戸時代の異色の成功者

正札販売で富商になった商家に、安波賀屋がある。安政のころ、片町通りから本町へ出る場所で鉄瓶の道具などを売って商売していたが、その後、下呉服町へ移って呉服商を開店、当時は珍しい正札付きの販売を始めた。価格がひどくはつきり判る上に、価格そのものが安いために、お客の人氣は上々。これに腹を立てたのが同業者達で、ついに同業者が相談して仲間はずしの処分を行った。しかし安波賀屋の当主は処分にかえって奮いたち、正札付きの安値商法にみぎをかけた結果、お客が殺到して、ついに安波賀屋は、押しも押されぬ富商の一人にのし上がった。商売熱心から豪商になった商人に、下呉服町の小間物商七つ屋清右衛門がいる。清右衛門は来る日も来る日も、小間物を背負って、城下町を商いに回った。回るコースは、ほぼ一定だ。三つ(午後四時)頃に決って訪れるため、じょうだん半分「七つ屋」と呼んでいたが、家号とまてなつた。この清右衛門、性格はおとなしく、客相手もつまい。商売熱心が実って、下呉服町指折りの資産家になったという。

経営のエキス 青年経営者の条件

あなたは何かできるか

- 1 個人的性格**
 1. けじめをはっきりさせる。
 2. 相手によって自分の態度を変えない。
 3. メモ魔
 4. 人の出合を大切にす。
 5. 他人の真似事は大嫌い。
- 2 自己育成**
 1. 知識吸収にはどん欲、読書好き。
 2. 何事も消化力が強く速い、よいと思ったらすぐ応用する。
 3. 人はみなすべて師、教を乞うのに謙虚である。
 4. 強い好奇心、何でもみてやろう、やってみてやろうの精神。
 5. 知ったかぶりをしない、知らないことは知らないとして素直に訊く。
- 3 生活信条**
 1. 名誉職をもっていない。
 2. 本もの主義、にせもの、中途半端は生理的に嫌い。
 3. 平気でケチれる、活きた金の使い方を知っている。
 4. 独りになって考える時間をもっている。
 5. 約束はどんな瑣細なことでも心ず守る。
- 4 生活態度**
 1. 健康である、ストレス解消が上手。
 2. 早起き、少ない睡眠時間。
 3. 家族サービスは想像以上に小ママにやっている。
 4. 公私の別をはっきりさせている。
 5. 厳しいしつけを保つ。
- 5 人間関係**
 1. 交遊はママにしている。
 2. 筆まめ、1年間に少なくとも100枚、多い人は1,000枚の手紙を書いている。
 3. 自由に気軽に何でも相談できる人がいる。
 4. 異なった分野の人々と接する機会が多い。
 5. 私淑する先輩をもっている。
- 6 経 験**
 1. 大巾な赤字を出したことがある。
 2. 税務査察の手入れ、税金問題は、結局その人の人生観による。
 3. 労働組合問題、労基法を守って出る黒字が本当の利益である。
 4. 資金ぐり悪化と銀行対策。
 5. マスコミにたたかれるような事件、トップの値打ちが異常事態のときよく判る。
- 7 事業的性格**
 1. 必要な時間は優先してとる。重点主義
 2. 常に第一線に立ち現場の雰囲気をよく知っている。
 3. マーチャンダイザー第一号、商品については誰にも負けない強さ。
 4. どんな場合でも結果が悪ければすべて自分に責任があると考えている。
 5. 間に合わせをしない。
- 8 経営姿勢**
 1. 数字では妥協しない。あるべき数字を変えないで具体的計画を変える。
 2. 先行投資を惜しまない。
 3. 採算計算に強い。採算に合わないときは合うまで何度でもやり直す。
 4. 損益の感覚から資本の論理へ考え方が脱皮している。
 5. 一番主義、何でも一番になりたがる。
- 9. スタッフ、協力者**
 1. 上手な人使い、短所をなおすより長所を十分に引き出す能力をもつ。
 2. 幹部は自分でスカウトする。他人には任せない。
 3. 反対意見についても素直に聞く耳をもっている。
 4. 人前でどなりちらして、周囲を困惑させたりしない。
 5. 才知よりも品性を大切にする。
- 10 事業信条**
 1. 本業に使命感をもち専念している。畑ちがいは手を出さぬ。
 2. 何が問題なのかよく知っており、そのことに危機感を抱いている。
 3. 先制主義、人に先んじてこそ利益があると思っている。
 4. 店は客のためであると本当に信じ、すべての発想はここから生れる。
 5. 一時一事集中主義、一度に二つのことはしない。

第八回 市民の広場 開催について



第二事業委員会

委員長 小川 修

設定してきた過去七年間の青年部の問題意識。『ウーン素晴らしいな』『動員はどうだったのかな』『場所が空いているの』『日時は？』『福井を舞台にした書を降しドラムを作る為に』『自然環境・文化歴史的環境の見直しと保全』『身近な道徳感の見直し』『核燃料再処理工場への提言』『日本の中心は福井だ』『議論は時間を止めない。おみこしを八月一日成功させた、青年部の各委員、役員が、新たな議論を展開しはじめたのは八月十周年を向えた青年部が今年八回目を実施しようとするのが『市民の広場』秋風の訪れと共に、いよいよテーマ作り、問題の掘り下げ、設営の準備と忙がしくなってきた。八月一七日の第三回第二事業委員会、テーマと同じ場所に決まった。

今福井・何がokれているか！少しふざけているようなテーマだが委員全員の、政・経・社、に渡る鋭い問題意識で現状の福井市の問題点を掘り下げ、広く市民の方々と語り合い、六〇年代の展望を探そうとするもの、多くの市民の参加をいただく為、受けるバナラ

1、講師も招いてと討議中。八月二四日の理事会で承認も得た。日時は二月二五日(日曜日)場所は、商工会議所大ホール。
過去八回の市民の広場で追ったテーマが、現在も青年部の継続事業として活動の根幹を形成しているものがいくつもある。こんな先達がつくりあげた、『市民の広場』福井市の街づくりシリーズ公開討論会への伝統を今年も第二事業委員会全員の総意で受けつぎ、内容のあるものにしたと思っています。

- 第一回 手づくりのふるさと
- 第二回 私達のファッション都市を考える
- 第三回 あなたと共にみつめよう、考えよう、語りあおう
- 第四回 福井のまつりを考える
- 第五回 無雪害都市をめざして
- 第六回 二〇〇一年の福井
- 第七回 断とう非行の芽―青少年と地域経済を考える

それぞれの年のそれぞれの社会的環境に鋭敏に反応してテーマを

メンバー募集

ゴルフ同好会発足

福居クラブ

当青年部会ゴルフ同好会を発足いたします。

- ◎競技回数 年間4回
- ◎年間会費 15,000円
- ◎競技方法 18ホールストロークプレー
- ◎申込締切 10月20日
- ◎申込先 事務局まで

詳細は、世話役 津田 TEL22-4706

TSS 明日を築く、損害保険の総合代理店

自動車・火災・傷害・他各種取扱い

津田損保サービス

〒910 福井市宝永1-22-8
TEL (0776) 22-4706

井上商事株式会社

代表取締役 井上 彪

アルミ笠木、シルバーライン、製造販売
石油・ガス・セメント・生コンクリート電材卸販売
A L C版・岩綿吹付・断熱防音工事

本社 福井市日の出2丁目1番6号
TEL0776 (22) 8479(代)

工場 坂井郡春江町江留中37字大別
TEL0776 (51) 4716(代)

営業所 東京・大阪・滋賀・敦賀

